

出題分析		
試験時間 80 分	配点 100 点	大問数 3 題
分量 (昨年比較) [減少 <span style="border: 1px solid black;">同程度</span> 増加]		難易度変化 (昨年比較) [ <span style="border: 1px solid black;">易化</span> 同程度 難化]
<p><b>【概評】</b></p> <p>例年通り，全問記述式である。本日程の解答数は，以前は 60 程度であったが近年は 50 前後となっており，一昨年は 53，昨年は 49，本年は 50 であった。大問数は 3 題で，本年は地誌・地図から 1 題，系統地理から 2 題の出題であった。地理院地図，メッシュマップ，3 次元地図，統計表，地図，衛星画像など資料は多様で，地図などにはカラー印刷が用いられることもある。設問は，示した資料についての問題のほか，空欄補充問題とリード文中の下線部に関する問題が多い。解答の形式としては，記号選択，短答記述のほか，本日程は 1 行程度の文章で簡潔に説明させる論述問題や，経度・緯度を計算させる問題も出題された。本日程の難易度は，統計問題や衛星画像など判断に迷う問題が散見された昨年に比べるとやや易化し，標準程度に戻ったといえる。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	佐渡島・地図	<p>[3] 「東から西の順」が問われていることに注意。礼文島と利尻島では，礼文島の方が北に位置するが，利尻島の方が東に位置する。[4] (1) 経度は <math>138^{\circ} 12' + 45'' \times 30</math>，緯度は <math>37^{\circ} 48' + 30'' \times 66</math> により計算する。(2) 特定したメッシュは，総人口の図では橙色のランク 4 と赤色のランク 5，標高の図では緑色のランク 1 にあたることを読み取る。(3) 手前の山地の方が奥側の山地より標高が高く，山地は左下から右上方向に走っていることから，北からみたものと判断できる。[8] ㊦ 伊豆半島は海洋プレートであるフィリピン海プレート，大陸プレートであるユーラシアプレートと北アメリカプレートの 3 つのプレートがぶつかりあう境界付近に位置する。</p>	標準

設問別講評			
II	森林	<p>[1]・[2] の基本的な地理用語は確実に答えたい。</p> <p>[5] パリで COP21 が開催されたのは 2015 年。[7] 樹林気候は、アイスランド南西部 (Cfc)、マダガスカル東部 (Af)、オーストラリア南西部 (Cs) の 3 か所。[8] ラニーニャ現象時には、暖水が太平洋西部に吹き寄せられるため、太平洋西部で積乱雲が発生しやすく、インドネシアなど東南アジアで多雨となりやすい。[12] 国産材は長らく低迷してきたが、戦後植林されたスギが伐採適齢期を迎えた近年、供給量は増加傾向に転じている。</p>	標準
III	人口	<p>[1]・[2] の基本的な人口の統計や推移はおさえておきたい。[2] 乙. 2011 年以降、連続して人口が減少している。[4]・[5] 静止人口の人口置換水準は、一般には合計特殊出生率 2.07 程度とされることが多く、ここでは小数第 1 位までを答えるため小数第 2 位を四捨五入して 2.1 となる。[7] (2)・(3)それぞれ「アジアの」「アフリカで最大の人口を有する」を読み落とさないこと。[8] (2) 新大陸では早い時点から都市人口率が高いことが多い。</p>	標準

### 合格のための学習法

立命館大学入試地理は、全問記述式である。そのため、地名や地理用語などは正確に書けるようにしておかなければならない。昨年に引き続き、本年も解答欄 1 行程度で説明させる設問も出題されたことから、用語や事象などについて簡潔な文章で説明できるようにしておきたい。大問数は 3 題と少ないが、大問ごとの解答数は比較的多く、出題された大問のテーマについて幅広く問われるので、教科書だけでなく、地図帳や統計表なども活用して満遍なく学習を進めてほしい。

なお、立命館大学入試地理では、地図類を用いた問題が頻出である。本日程では、大問 I において、度、分、秒まで緯度経度を求める計算問題や、メッシュマップの読み取りの設問、地理院地図を用いて作成された標高の 3 次元地図などが出題された。したがって、地形図・地理院地図や地図に関する学習は万全に行い、60 進法の計算にも慣れておきたい。